

第2回 一宮川流域における令和5年台風13号による災害検証会議 主な意見及び対応方針（案）

No.	主な意見	対応方針（案）
浸水に関する情報収集について		
1	集めた写真や動画、地元ヒアリング結果をつなぎ合わせて、浸水の進展状況を時系列で整理してほしい。 (地形データと氾濫域の水位の変化をまとめると、メカニズムが見えてくるとともに、シミュレーションの検証材料となる。)	収集した写真や動画などから水位を読み取り、氾濫状況の整理を行っていく。最終的にはグラフなど図化したいと考える。 ⇒ 議題2で報告
2	越水箇所や氾濫状況などについて、画像データや聞き取りで新たに確認ができた際には、確実に情報として整理していただきたい。	随時更新し、活用していく。
シミュレーションモデルについて		
3	茂原市街地における、内外水による浸水状況を再現できるモデルを構築したい。	茂原市の下水管網データを収集し、内外水モデルを構築し、氾濫の再現計算を行っていく。 ⇒ 議題4で進捗状況を報告
4	今後の流域治水のあり方を検討するために、河川整備などによる効果の検証や仮締切堤防の高さ不足による影響の検証を行いたい。	今後の浸水対策のあり方の検討に先立ち、全国的に行われている対策事例を収集し、共有する。 ⇒ 議題3で報告 今次水害について、再現性の高いシミュレーションモデルを構築した上で、ケーススタディを行い、影響度合いを確認していきたい。 ⇒ 議題4で進捗状況を報告
5	シミュレーションモデルによる解析には限界があり、一定の不確実性があることを認識して結果を見ていくことが重要である。	できる限り、写真や動画、地元ヒアリングでの情報収集に努める。また、それらを整理し、シミュレーションモデルのキャリブレーションに反映させていきたい。 ⇒ 議題4で報告